

# 市政の動き

## 3月定例会における議決

今回の定例会では、執行部が提出した予算案と議案を議会が修正・否決しています。

### ▶ こども園・公園の整備事業は凍結

こども園・公園の整備事業に関する予算が議会によって削減された結果、具体的な議論に必要な基本構想が作成できない事態となりました。議会の主張が不確かであるため、執行部としては動きが取れません。事業は事実上の凍結となり、当初の予定であった2026年度の開園は絶望的な状況に陥っています。

### ▶ 利用できない老人福祉センターが残留

老朽化によって危険となった吉田町にある老人福祉センターを廃止する条例を議会が否決しました。すでに利用者には施設を閉鎖する旨を周知してあるため、4月以降は利用のない施設が放置される状態が続く見込みです。反対した9人の議員<sup>\*1</sup>は議決に対して責任を持ち、市民が納得のいくよう丁寧に説明しなければなりません。

### ▶ 事業の廃止や縮小は不可避

予算案の審議や一般質問においては、事業の廃止・縮小に対する不平不満を口にする議員が散見され、財政に対する認識のなさが露呈しています。

広報誌の11月号でも示した通り、2023年度の予算編成は前年度より歳出を13.8%も削減しなければならない状態から始まっています。市の機能を維持するためには、優先順位に基づく選択と集中が不可欠です。

そもそも市は2016年度から2020年度まで5年連続で実質単年度収支が赤字に陥っていました。もちろん、議会が承認した予算であり、議会はその決算も認定しています。こうした放漫財政のツケを払わざるを得ない現状を、誰よりもまず議員が理解しなければなりません。

### ▶ 政治団体による迷惑行為

補助金の削減に関連しては、政治活動を行っている団体「安芸高田市政刷新ネットワーク」が、観光協会の解散について勝手な憶測によるうわさを流しています。内容は「協会の職員が市長の批判をしたため<sup>\*2</sup>、協会の補助金が半減された」というものです。

当たり前ですが、市の予算編成ははるかに大きな枠組みで行われており、一職員の失態で動く道理はありません。多くの事業が縮小・廃止となる中、組織の問題を個人の責任に転嫁するような解釈は言語道断です。同団体へはこうした迷惑行為を慎むよう厳重注意を行っています。

〔※1〕 武岡隆文、新田和明、山根温子、石飛慶久、山本優、穴戸邦夫、児玉史則、山本数博、先川和幸 ※敬称略

〔※2〕 観光協会の職員が、自身の立場がわかる状態でSNSを使い、市の施策について誹謗中傷を行っていたのは事実です。「仕事をする上で取引先の悪口は言わない」という常識の話ですが、「問題のある行為だ」と市に通報が入ったため、市が協会に対して注意を行う事案となりました。結局、市の指導を受けて、協会が新たにSNSの利用に関するガイドラインを定める形で決着しています。



## 一般質問のまとめ

今回の一般質問では、9人の議員から質問がありました。本来は来年度に向けて施政方針等について問うべきタイミングですが、引き続き議会の活動は低調に終わっています。

### ▶ 本質的に適さない質問が散見される

これまでと同様に、単なる事実や既に説明した方針等についての質問<sup>\*3</sup>は、基本的に部長が答弁しています。結果、質問のほとんどを部長に答弁された議員が何人も生じました。答弁を受けてなお議員が同じ質問を繰り返されたため、やむを得ず市長が割って入る形で答える場面さえありましたが、本来あるべき一般質問とはなっていません。

### ▶ 他の議員の質問を聞いていない事例も

また、すでに他の議員が質問した内容と同じ質問をされる事例も幾度ありました。議場にいる以上、他の議員の質問はしっかり聞いておくのが当然の所作です。



〔※3〕 『議員必携』では「単なる事務的な見解をただすに過ぎないもの、制度の内容の説明を求めるもの、議案審議の段階でただせるもの、あるいは特定の地区の道路改修などを要望するためのものは一般質問としては適当でない」と説明されています。

市長 石丸 伸二

## 《主な動き》

3/1	面談	南澤議員、田邊議員、芦田議員、熊高議員、秋田議員と調査の手続きについて意見交換。
3/6	面談	南澤議員、田邊議員とこども園・公園の整備について意見交換。
3/17	会議	議会事務局長へ調査における不備を確認。
3/23	会派への書面通知	シセイクラブへ2023年度一般会計予算案の修正について説明責任を果たすよう要請。
3/23	議員への書面通知	石飛議員へ吉田老人福祉センター廃止案の否決について説明責任を果たすよう要請。
3/23	面談	南澤議員、田邊議員とこども園・公園の整備について意見交換。
2/28	委員長への書面通知	山根委員長(産業厚生常任委員会)に対して、閉会中の継続調査における重大な不備について指摘。